

みんなで生ごみゼロを目指そう

段ボールコンポスト の作り方・使い方



妙高市 環境生活課

段ボールコンポストの作り方





材料	備考	数量
段ボール	頑丈なもの。	1 個
段ボール板 (二重底用)	段ボール底面の補強用	1 ~ 2 枚
ピートモス		1 8 リットル
もみ殻くん炭		1 8 リットル
網目状の台	通気性を確保するために必要	段ボールの底面と同じか大きいもの
スコップ	ピートモスともみ殻くん炭のかくはん に使用する。	
虫よけキャップ		
ひも		
ガムテープ	クラフトテープが良い。	

No.	工程
1	<p>①段ボールを組み立て、底面をガムテープで止め、目張りする。 ②組み立てた段ボール内に段ボール板を敷き、二重底にする。</p>
2	<p>・ 段ボール内にピートモスともみ殻くん炭をいれ、よく混ぜる。 ※投入量は、段ボールの深さのおおむね6割程度。</p>
3	<p>・ 網目状の台の上に置き、虫よけキャップをかぶせ、ひもで結んで完成。</p> 

段ボールコンポストの使い方

順番	内容	写真
1	<ul style="list-style-type: none"> ・虫よけキャップをとり、前の日に入れた生ごみと土をよく混ぜる（2回目以降）。 ・生ごみを埋めるところに穴を掘る（20cm程度）。 ・掘った土は、一か所に山にしておく。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・掘った穴に生ごみを入れる。 ※投入量の目安は800g以内	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・掘った穴に、山にした土をかぶせる。 ※かき混ぜない。	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・虫よけキャップをかぶせ、ひもで結んで完了。 	
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・臭いのもとになるため、水気は事前に切っておく。 ・分解を早くするため、投入する生ごみは、細かくしておく。 ・雨の当たらない、風通し・日当たりの良い場所に置く。 ・投入期間は3か月～8か月程度（次第に分解が遅くなっていきます。） ・投入期間の終了後は、たい肥として使用するための熟成期間に入ります（次ページへ）。 	

熟成方法（たい肥の作り方）

順番	内容	写真
1	<p>・熟成中は、1週間に1回程度、段ボールコンポストに1リットル～2リットル程度の水を入れ、全体をよくかき混ぜる。</p>	
2	<p>・熟成期間は、夏場は2週間～1か月程度、冬場は1～2か月程度。 ※投入した生ごみがなくなり、水分を加えても熱が発生しなくなれば、熟成が完了し、たい肥として使用できるようになります。</p>	
3	<p>・たい肥としての使用方法は、たい肥1に対して、市販の培養土3の比率で混ぜて使用します。</p>	
4	<p>・花壇やプランター、家庭菜園などで、たい肥を使用することができます。</p>	

段ボールコンポストの注意点

- ・おおむねキエーロと同じものを投入可能です（最終的にたい肥とするため、多少柔軟な運用が可能です。）。
- ・臭いの発生抑制のため、熟成期間以外で水分の投入は発行状況を見て調整してください。